

< 随想 > — 金融経済教育 —

「インフレやデフレへの対応について教えてください」。

これは記者会見での質問ではない。今年の日本銀行仙台支店「夏休み親子見学会」における私への小学生からの質問である。

親子見学会では、小学中・高学年を対象に、金融・経済になじんでもらうため、1 億円の重さ体験や、紙幣の偽造防止技術の紹介、日本銀行の役割の説明などを実施している。

冒頭の質問には、お小遣いとお菓子の値段を例に対応の必要性を説明してみたところ、急速なインフレは困るとの予想通りの反応があった一方、デフレへの反応は良い意味で裏切られた。値下げを歓迎するかと思いきや、お店の収益悪化が給料の減少を招き、お小遣いが減っては困ると、実に的を射た声が聞かれたのである。インフレやデフレ、金利変動などの経済の動きが身近な生活に与える影響について子供の頃から意識することは、家計管理や生活設計など金融リテラシーを身につける良い訓練となる。見学会場で「お金ものしり博士」認定証を誇らしげに受け取る子供たちの笑顔が、頼もしく感じられた。

日本銀行 横堀 裕二